

平成25年度 森の名手・名人認定証伝達式

平成25年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました

平成25年度森の名手・名人に認定された県内の1名に対し、公益社団法人国土緑化推進機構から届いた認定証が10月11日、公益社団法人岐阜県緑化推進委員会会長の渡辺真、岐阜県議会議長から伝達されました。

今年度森の名手・名人に認定された方

加工部門（和傘轆轤製造）

ながや かずお
長屋 一男 さん

全国1位の生産量を誇り、岐阜市を代表する伝統工芸品「和傘」の開閉に必要な轆轤（ロクロ）の製造に42年間にわたり従事された。轆轤の加工は専用の機械を使いながら非常に緻密で繊細な作業が必要であり、その卓越した技術力が認められました。また、その技術を活かし森の恵みを使った伝統工芸の保存・継承にも積極的に取り組んでおられます。



渡辺真緑化推進委員会会長（右）から認定証の伝達を受ける長屋一男さん（左）



記念撮影：左から渡辺真緑化推進委員会会長、長屋一男さん、正村洋一郎県林政部長

「森の名手・名人」とは

森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに・にっぽん 運動」が平成14年11月に開始されました。

公益社団法人国土緑化推進機構ではこの運動のリーディングプロジェクトとして、平成14年以降、森や山に関わる 樵、マタギ、炭焼きなどの生業においてすぐれた技を極め、他の規範となっている達人について、その内容により「森づくり」、「森の恵み」、「加工」、「森の伝承・文化」の4部門を設け、「森の名手・名人」として選定しています。

平成25年度現在の認定状況

全国の認定者数 1,060名（本年度67名）

岐阜県の認定者数 42名（本年度1名）

※ 岐阜県の認定者数は、愛媛県50名、長野県45名に次いで全国第3位となっています。